

活動名	熊本県立熊本北高等学校・自然科学部の活動支援
-----	------------------------

貢献・連携類型	4. 小中高大連携・協力
---------	--------------

報告者	一般教育	学科	職位	准教授	氏名	伊藤 賢一
-----	------	----	----	-----	----	-------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

熊本北高・自然科学部の教員・生徒とともに化学の学習に役立つゲームを開発し、その普及を目標とするものです。

化学の学習に役立つゲームは、「化学分野の教育・学習ゲーム」や「ゲーム性を有する化学教材」とも言い換えることができます、遊びながら楽しく化学を学ぶことができるゲームです。諸外国ではゲームを利用した学習（Game-Based Learning, GBL）の1つのツールとして多数のゲームが報告されていますが、日本での報告例は諸外国と比べると少なく、その認知度の拡大は急務であると考えています。

今期は生徒らとともにトランプゲームのブラックジャックを基盤としたゲームを制作し、高校の文化祭に出展して好評を得ました。

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

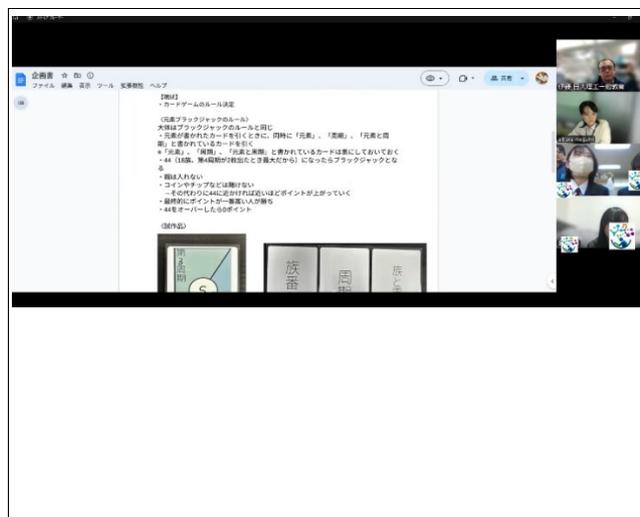
今年度は、先の文化祭への出展で得られたゲームに関する感想や意見をもとに、ゲームの改良案を作成し、東京・お台場で毎年開催されている JST 主催の「サイエンスアゴラ」への出展や日本デジタル学会の年次大会での発表を検討しています。

対象・相手先	熊本県立熊本北高等学校 自然科学部
--------	----------------------

協定書・依頼の有無（具体的に記入）	無し
-------------------	----

実施日時	毎月1回 2時間程度
------	---------------

場所	zoom ミーティング
----	-------------



本学からの参加者  
 一般教育・岡田真紀助手、精密機械工学科・粟飯原萌助教  
 応用情報工学科・五味悠一郎准教授、  
 一般教育・柴山英樹教授

